

1. 比内町町内会

県道65号線の比内町区間の街路灯設置の要望（新規）

1. 当町内会を県道が開通して久しいが、街路灯がおおよそ400mも途切れている区間があります。
2. 当該区間は街路樹（欖と植え込み）が生育し、かつカーブであることから、大部分の街路灯の明かりが届かず、前方を見通すこともできず 不安を覚えます。
3. ある事業所では地域貢献を兼ねてスポットライトを通年夜間10時まで点灯していますが効果は限定的です。
4. 少なくない自転車通学生（新屋高校調べでは26名）やジョギング・ウォーキング利用者の「暗くて、怖い」との声が寄せられているので、適度の間隔で街路灯を設置することを要望します。

参考：南大橋前交差点から国道7号線接続区間に設置されている街路灯の平均間隔

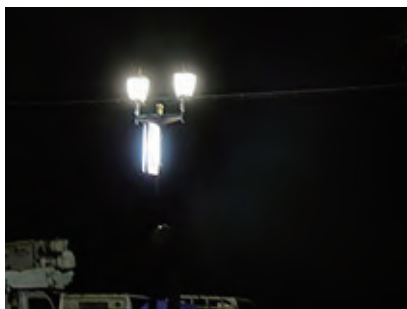
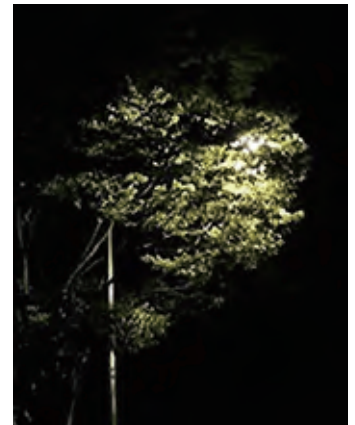
区 間	距離(m)	街路灯数	平均間隔(m)	沿線環境
南大橋前交差点～新屋高校前	≒1460	10	≒160	水田・防雪柵
新屋高校前～大森山動物園交差点	≒1160	35	≒35	住宅・跨線橋
大森山動物園交差点～国道7号線	≒1190	10	≒130	住宅・欖・雑木林
※うち比内町要望区間	≒400	2	≒400	住宅・欖・雑木林



カーブのため見通しが悪い



街路灯が木に覆われている



樹木の根で歩道がいたみ危ない

<回答>

当該箇所について、設置条件等を勘案し検討して参ります。

今年度、大森山動物園入口交差点部及びカーブ区間に、それぞれ1基ずつ照明灯を設置する予定です。

なお、県道における道路照明灯の設置については、夜間に道路状況や交通状況を的確に把握するため、交差点や横断歩道、見通しの悪いカーブなどの箇所に限定して設置していることについてご理解をお願い申し上げます。

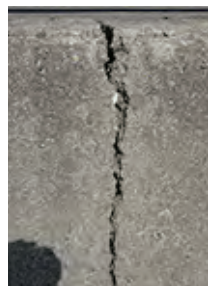
また、防犯対策としての街路灯の設置については、秋田市の秋田市市民生活部生活総務課において防犯灯の整備を行っております。
(秋田地域振興局建設部)

2. 比内町町内会

県道56号線の歩道設置のためのコンクリート壁が傾斜かつ沈下したため歩行に支障をきたしているため改修を要望（新規）

1. 当該歩道(延長≒87m、幅員≒2m)は、盛り土に斜面にコンクリート壁を建てて幅員を確保して設置されています。
2. 歩道面には落差のある亀裂が2か所(長さ≒51m、≒8m)あり、毎年のように充填剤で被覆して頂いています。
3. コンクリート壁(高さ≒2~3m)は全9スパンのうち5スパンが傾斜し、縁切り部でズレ(≒2~3cm)が生じています。沈下も伴っており、歩道の左・右端の高低差は≒15cm(横断勾配は≒7%)となっています。縦断勾配も加わるので最大傾斜はもっと厳しくなっています。
4. コンクリート壁そのものは安定しているようですが、年々歳を重ねる地域住民にとって危険性と不安は増す一方です。

車いすの利用者や雪の降り始めなどでも安全・安心な歩道(道路構造令では横断勾配=2%)となるように改修を要望いたします。



コンクリート壁の亀裂

歩道もひび割れてきている

<回答>

現地確認を行った結果、当該箇所について調査・設計等の実施を検討して参ります。現在、現地調査を実施しており、今後、補修方法等について検討して参ります。(秋田地域振興局建設部)

3. 関町後町内会

保安林整備事業後の「防風対策の要請」(継続)

私ども町内に於ける西側地域の防風保安林は、松くい虫対策等により伐採され、保安林整備事業(平成25年10月)が行われました。その後クロマツや広葉樹の植栽が行われたものの、強風時の飛砂がひどく、特に冬場の暴風雪時には困惑している状態になっています。土地所有者(榎木内、塚田弥五郎)ではなく、秋田地域振興局農林部による代行で行われたものでありますが、冬場に限らず強風に因る家屋への影響は計り知れなく、個人では如何ともしがたく対処できない状態になっております。

最近ではR-7南バイパスの4車線化による騒音の影響もあり、以前より町内の住環境が劣悪な状態になってきました。宅地造成開発時にこのような事態を想定できたらと思いますが、30年以上も前のことで、今更どうこうできるものでなく、困り果てております。

添付資料の如く現に防風施設が数カ所設置されていますが、これらは個人で設置した物とは思われず、どのような経緯で設置されたのかも分かりませんが、同様の防風施設を検討していただければ、かなりの効果と改善が期待できると思います。

防風施設の設置を、よろしく願い申し上げます。



<回答>

ご要望の防風施設の設置については、前年度の回答の通りで、現状では新たに防風設備の設置は困難であり、進展がありません。ご了承ください。
(秋田地域振興局農林部)

<平成 28 年度・回答>

ご要望のありました防風施設の設置については、治山事業での実施が考えられるところですが、植栽を伴わない単独での実施は要件を満たさないこと等から設置は困難な状況です。

県では、当該地の松枯れ被害から海岸林再生をめざして、平成24、25年度にクロマツ、広葉樹を植栽しております。

植栽後は、下刈りを行うなど保育施業を毎年実施しており、これまでのところ成長は良好ですが、海岸林としての機能を果たすまでには、もうしばらくの期間を必要とします。

周辺一帯の海岸林は、特定非営利活動法人松林・あらやと県で「新屋海岸林再生活動に関わる協定」を締結して、両者が協力して再生を図ることとしておりますので、今後とも引き続き取り組んで参りたいと考えております。
(秋田地域振興局農林部)

1. 愛宕町町内会

道路揺れ調査と全面修理のお願い（新規）

上の坂より日吉神社までの市道ですが、バス路線でもあり交通量の多い場所です。その通りに面している家屋が大型車が通る度に、ギシギシときしむような音と揺れでとても恐怖を感じております。

この辺は「上の坂」の下であり、近くには井戸水も流れているので地面の下がどうなっているのか、道路陥没の危険はないか等が心配です。一带の住民が一日でもゆっくり休めるよう、早急に調査と改善を要望いたします。



<回答>

本市では、道路陥没が多い市道について、路面下空洞化調査を行い、その結果を参考に道路改修等を行っております。ご要望の箇所については、来年度以降に調査を行ったうえで対応について検討してまいります。

（道路維持課）

2. 大川町町内会

JR羽越本線雄物川踏切の立体交差化のお願い（新規）

当町内下にある「JR羽越本線雄物川踏切」の立体交差化（アンダーパス）については促進の必要があると思われまます。

- 朝夕の通勤時間帯は踏切前後の道路が渋滞し、特に冬場が吹雪くとホワイトアウト状態になり、一寸先も見えない危険極まりない状況となります。また、踏切幅が十分でないため大型車どうしの交錯が危険な上、新屋駅側の見通しが悪く不安な状況にあります。
- 踏切から簡単に鉄橋側へ侵入することができるため、子どもたちの事故防止上、進入を防止できるようにすることが望ましい。
- 十條製紙跡地の工業団地の開発促進のためにも、立体交差化は必要な条件であり、推進をお願いいたします。



<回答>

第一雄物川踏切は、雄物川の堤防上に位置しており、立体交差化（アンダーパス）をするには、堤防を掘削することとなり、河川管理者からの許可が取得できないことから、立体交差化は困難です。ご理解くださるようお願いいたします。

（道路建設課）

3. 下表町町内会

排水溝の蓋の改良について（継続）

新屋元町18-3の丁字路交差点下の排水と、家の前の排水(2箇所)が、雨天時大量に溜るため、蓋の改良をお願いします。



新屋元町17番25号「瀧澤宅」から新屋元町18番3号「楽亭すずらん」までの市道に道路側溝の敷設をお願いいたします。（継続）

相変わらず、強い雨が降った際は道路に水が溜まって歩行に支障が出ております。昨年度は「年次計画を定め、来年度(28年度)以降整備してまいります」というご回答をいただきましたので、今年こそ、ぜひ側溝の敷設をお願いいたします。

<回答>

ご要望の排水溝の蓋の改良につきましては、9月上旬に格子状の鋼製蓋に交換しましたので、降雨時の状況をご確認ください。また、道路側溝の整備につきましては、平成28年度の調査では市道上に個人所有物があったことなどから、撤去または移動に関する調整を行っておりますが、現在のところ解決までには至っておりません。引き続き、解決に向けた調整を図りながら側溝整備に努めてまいります。（道路維持課）

4. 市営住宅町内会

住宅入口の道路拡幅について（継続）

冬期間の積雪時、道路幅も狭くなり、交錯することが大変困難です。是非、住宅の入口の道路拡幅をお願いいたします。



住宅入口の道路拡幅について（再継続）

住民所有者の大型乗用車も多く、冬季積雪時に交錯するのが難しく大変困っております。道路の拡幅改修をお願いいたします。

<回答>

新屋比内町市営住宅入口の道路の拡幅については、この道路に隣接している民間住宅の敷地に擁壁が設置されていることから、道路の拡幅工事を行うにあたっては、これを後退させる必要があるため、現状では困難であると考えております。なお、市では、住宅入口の道路周辺にある樹木を剪定し、道路の見通しの確保を図っているほか、冬期間においては、町内会および市営住宅の管理人と連絡を密にし、降雪状況に応じた除排雪を実施して道路の実効幅員を確保するとともに、すべり止め用の砂箱を設置するなど、引き続き、通行時の安全確保に努めてまいります。（住宅整備課）

5. 秋田市新屋振興会

新屋駅前に、新屋案内板の設置について（継続）

新政酒造跡地の工事が始まりました。秋田公立美術大学や大森山動物園、西部工業団地などを訪れる方々に加えて、さらに多くの方が新屋に来られることになると思われます。

当然、新屋駅に降り立つ人も増えると予想されますが、なぜか新屋駅前には「案内板」が設置されておりません。「芸術文化の薫るまち」とか「昔の町並みの残るまち」などと言ってはおりますが、玄関口の一つである新屋駅前に案内板が無いのは「不親切」と思われても仕方ありません。

新屋駅前に、新屋とその周辺の案内板を設置していただきたく、お願い申し上げます。

<回答>

現在、秋田公立美術大学では、新屋駅前通りにおける案内・誘導サインなどの研究に取り組んでおり、市では、当該研究成果を踏まえて、今年度中に新屋駅前に案内看板を設置することとしております。

（西部市民サービスセンター）

6. 秋田市新屋振興会

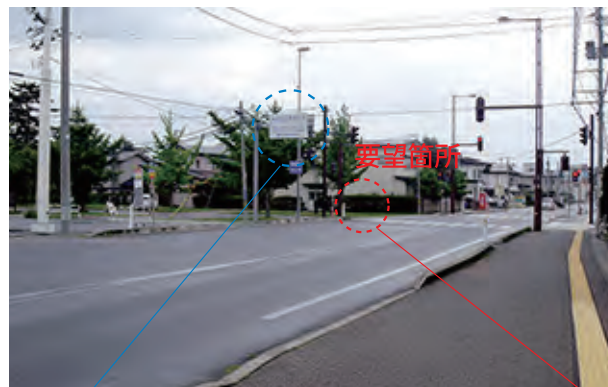
新屋の主要道路沿いにモニュメント的なサインの設置を（継続）

秋田公立美術大学に大学院が誕生することになり、いよいよ「新屋の核」として重みを増すこととなります。しかし、新屋に「美術大学のあるまち」という雰囲気を感じさせるものは殆ど皆無の状態ではないでしょうか。「宝の持ち腐れ」のようで勿体ないことです。

そこで、新屋の主要道路沿いの交差点付近に、美大生製作のモニュメント的なサインを設置してはどうかと考えます。「秋田大橋を渡ると、そこは芸術文化の薫るまちだった」。

他とは一味も二味も違う（例えば釧路の「幣舞橋」に負けないような彫像がアチコチにあるような）まちを目指して、新屋は頑張ります。モニュメント的なサイン作製／設置を、よろしくお願い申し上げます。

現在、美術大学前交差点上部に道路標識がついていますが、、見落とししやすいほか、大学の建物も道路から奥まっけていて、わかりづらい状態です。



道路標識はあるが見落としやすい



大学の建物が見えにくい十字路中央でようやく見える

この付近にあると良い

<回答>

本年4月の秋田公立美術大学大学院の開学および大学運営にあたり、皆様からご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

今年度秋田公立美術大学では、昨年度まとめた新屋駅前通りデザイン構想の研究成果における提言で、新屋駅前通りのサインシステム計画の策定や、駅前に設置する案内看板のデザイン研究のほか、住民参加による夜間照明の確保として、ガラス工芸を活用した玄関灯を、駅前通りに面した家々に設置する実証実験などを行うこととしており、アートを活かしたまちづくりに取り組んでいるところであります。

大学周辺へのモニュメント的なサインの設置につきましては、アートによるまちづくりを研究する大学としてその専門性を活かしながら、地域との連携により取り組むべく、検討を働きかけてまいりたいと考えており、その際にご提案を参考にさせていただきます。なお、道路敷地に設置する場合、道路管理者との協議が必要となります。

（企画調整課、建設総務課）

7. 秋田市新屋地区体育協会・秋田市新屋振興会

秋田西中学校のグラウンドの地盤改修工事について（継続）

秋田西中学校のグラウンドは、秋田市では類のない広さと環境を誇るグラウンドです。学校行事や授業は勿論、地域の運動会や各種行事にも広く活用されています。かつては水捌けが悪かったため、平成17年9月には半分ほど(約8300㎡)の地盤改良工事をしており、この部分に関しては大変よくなりました。残りの部分は、その後手つかずになっており、雑草が根を張っている他、水捌けが悪いため、大会などで使用する前日や当日の朝に雨が降れば、人力でのグラウンド整備は非常に難しい状態です。学校行事や部活動の他、地域住民の交流の場としても重要なグラウンドですので、早期の整備をお願いいたします。

<回答>

グラウンドの地盤改良については、多額の費用が見込まれることから早朝の実施は困難と考えておりますが、引き続きグラウンドの状況等を確認しながら、盛り土や排水施設の整備など、小規模修繕による環境整備に努めてまいります。
(教育委員会総務課)

8. 笹町町内会・大川町町内会・下表町町内会・中表町町内会・十條団地町内会・新屋駅前町町内会・新屋地区市民憲章推進協議会

大川端带状近隣公園の水路の改良について（継続）

一昨年春、带状公園水路の水源を「湧水&雨水」に変えていただいたお蔭で、せせらぎの水質は随分良くなりました。しかし、御蔵橋より下流は相変わらず水が淀んで「汚水化」しています。段差部分を改良して水流を速くするとか、水路の底を浚渫して斜度をつけるなど、改善を引き続きお願いいたします。

<回答>

ご要望の水路につきましては、雨の日に新屋樋門を閉めて一定量の水を溜めた後に、樋門を開けて一気に水を流すことにより泥を取り除く作業を実施するなど、今年度も引き続き、水の淀みの改善に努めてまいります。
(下水道整備課)

9. 秋田市新屋振興会

豪雨による大川端带状近隣公園の逆流および扇町の浸水の対策（新規）

過日の記録的な豪雨のため雄物川上流域では各地で浸水の被害にあい、我が新屋扇町の一角(带状公園一帯)でも浸水の被害を受けました。これは雄物川本流が危険水域に達し、带状公園(せせらぎの流れ)の放流口への逆流を防ぐためにゲートを閉止したことから、公園下のヒューム管も閉鎖され、上流からの流れが行き場を失い、扇町道路のマンホールから噴出したものと考えられます。

このたびは市の対応策として、移動ポンプ車を配置稼働させて、大事に至らなかったようであるが、今後の豪雨時の対応として現存している公園の地下水汲み上げポンプを下流域に移動するなどを検討してみたいかがでしょうか。継続的に要望している下流の水質もポンプの汲み上げで改善できるのではないのでしょうか。



带状公園桜橋から南側(散歩道は完全に水没)



带状公園ポンプ場付近(この付近まで水没)



扇町道路(塾前)と带状公園



带状公園南側(新屋幼稚園方面)



带状公園南側(マンホールからの噴出で水没)



带状公園南側と扇町道路(扇町は途中まで浸水)

<回答>

当該地区の雨水は、带状公園に埋設されている雨水幹線から雄物川へ排水されますが、雄物川水位が一定の高さを超えると、带状公園への逆流による浸水被害が発生することから、降雨状況を見極めながら新屋樋門の開閉作業を行うことにしています。7月22日から23日未明にかけての大雨においても、雄物川水位が2.9mを超えた時点から監視体制をとっていたところ、水位が地区内の低地の冠水が始まる4.4m程度まで上昇したために浸水被害が発生したものです。これに対応するため、仮設ポンプ9台を配置、上流からの流入量の低下を確認後、樋門を閉止し雄物川への強制排水を実施したことにより、24日早朝までには浸水を解消することができました。今後も、建設業者や資機材リース業者などとの連携を強化し、仮設ポンプの設置等により、浸水被害を最小限に押さえるよう努力してまいります。なお、地下水汲み上げポンプについては、揚水能力が低く当該箇所の排水には適していないことや設置から約20年経過し老朽化していることから、現施設への移設・再利用は困難であります。
(下水道整備課)

10. 秋田市新屋振興会・日新小学校 PTA、日新小学校同窓会

日新小学校の環境整備について

日新小学校関係の要望につきましては、いつも着実にご対応いただき、誠にありがとうございます。現在の校舎が建ちましてから40数年経過し、大変な老朽化を呈しております。昨年から見ますと外壁コンクリートの部分崩落、天井や壁面からの雨漏り、コンクリートが溶けてツララ状に、トイレが臭い、配管の腐食などの問題点が日増しに増えてきている状況です。もう新築するしかないのではないかと考えておりますが、今年度も何卒よろしくご願ひ申し上げます。

①水回りトイレについてのお願い(継続・新規)

- a. 一昨年は、体育館隣接のトイレを一部洋式化していただき、ありがとうございました。ただ、配水管がそのままのため、親たちの利用が多い時には、大量に流されるトイレトーパーが詰まって悪臭も漂い、教師たちが棒で突いて流そうとするなど大変困っていますので、配水管の拡張をお願いいたします。(継続)その後、3階男子トイレの天井の雨漏れがあって使用できないため、2階のトイレを使用するようにしたため水量が多くなり、1階トイレの天井に漏れることがありました。現在も3階トイレは使用できない状態です。また、トイレの配管は古く悪臭があるなど、衛生面にも問題があります。(新規)

継続の要望と合わせて改善をお願い申し上げます。



天井の雨漏りで使用禁止にしている

<回答>

一昨年度和式から洋式へと改修したトイレの排水については、標準の管径の管渠を使用しておりますが、節水型の便器の普及により、排水量が少なくなっていることも詰まりの原因と考えられるため、使用後の水量を増やすことで対応してまいります。また、3階トイレの雨漏りについては、平成30年度の外壁改修工事で外部防水等の修繕を行い改善する予定であります。トイレからの悪臭については、トイレ改修を行う必要があり、多額の費用が見込まれることから早朝の実施は困難と考えておりますが、今後の改修を検討するなど、環境整備に努めてまいります。
(教育委員会総務課)

- b. 給食職員用のトイレやシャワー室が無いので、職員たちは2F図書室のトイレを使用しています。また、職員トイレが無いので、来客時には一番きれいな生徒用のトイレを使用してもらっていますが、午後4時半以降は防火シャッターが閉まって使用できなくなります。

教職員用のトイレが無いのは日新小学校だけと聞いたことがあります。給食の衛生や調理の効率からも、教職員用トイレの設置をお願い申し上げます。(継続)

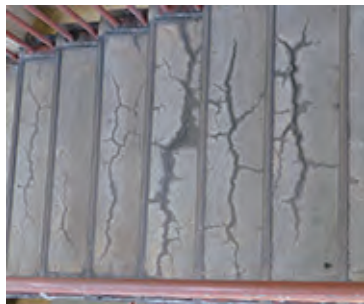
<回答>

給食職員用のトイレやシャワー室を完備していない学校は4割程度あり、いずれの学校も設置するためのスペースを確保できないことから、大規模改修工事を行う際に改善に努めてまいります。また、教職員用トイレのない学校はほかにもありますが、設置については、トイレ改修計画に組み込むなど、対応を検討してまいります。
(教育委員会総務課)

②外壁などコンクリート部分／サッシ等の補修のお願い（継続・新規）

- c. 非常階段の老朽化がひどく、鉄筋が剥き出しになっていたり、階段が脆くなって剥がれたり欠けたりして、避難訓練の実施が却って危険になってきたようです。（継続）

最近の状況では非常階段は危険なため、現在は使用していないようです。災害時の避難を考えると大変不安ですので早急な修理をお願い申し上げます。（新規）



非常階段の剥がれやヒビ割れ状況



石灰質が溶けて来てツララ状に

- d. 雨水の排水管が鉄管なので、内部が錆びて穴が開き、壁等コンクリート部分崩落の原因になっているとも考えられます。頭上にも足元にも大変危険に感じますので、早急な補強・修繕をお願いいたします。（継続）

最近では外壁？庇？などが壊れ落ちたり、剥がれ落ちたりしている破片が時々見られるようになってきました（先日は3～4cm角で長さ30cm位の破片が落下）。生徒のことを考えると更に危険度が増してきていますので、早急な補強・修繕を再度お願いいたします。（新規）

<cおよびdの回答>

老朽化の激しい非常階段や雨水管を含めたその他箇所については、平成30年度に予定している外壁改修工事にて合わせて実施することとしております。なお、緊急を要する部分や落下の恐れがある箇所については、引き続き小規模修繕等により対応してまいります。（教育委員会総務課）

- e. 二階昇降口のサッシ戸の交換ありがとうございました。サッシ戸は新しくスムーズに開閉できるようになりましたが、外枠と脇の固定のサッシは腐食したままです。地震の揺れや強い風などでは問題がないのでしょうか。また、1階の入口も同じ状態ですので、合わせて確認いただき、修繕をお願いいたします。（新規）

<回答>

校舎は建築後43～45年経過しており、二階昇降口以外のサッシ枠も全体的に経年劣化している状況であり、小規模修繕での対応は困難な状況ですので、学校施設長寿命化計画の中で検討してまいります。（教育委員会総務課）

- f. 以前から天井や壁面への雨漏りがありました。ここ数年、雨漏りの頻度が増えてきています。特に平成29年7月23日の豪雨（降水量が多く風が強かった）の時は、天井や壁の雨漏りが非常にひどく、対応に大変だったと聞いております。生徒が学ぶ校舎ですので、もう少し環境を考えていただけませんか。よろしくをお願いいたします。（新規）



雨漏りがひどく天井をはずし、廊下にはバケツを置いた

<回答>

天上や壁面の雨漏り改修については、学校施設長寿命化計画の中で検討することとしております。

（教育委員会総務課）

③老朽化したコンセントの取り替えについて（新規）

一部は新しいコンセントに変えていますが、多くは創立当時のままのコンセントを使用しています。昨年の6月にはコンセントから火を出したことがあり、幸いにも大事にはなりませんでしたが、今後の安全面を考えても新しいコンセントに替えるべきと考えます。早急に設置していただきたく、お願い申し上げます。



創立時からのコンセントを使用している



火を出したコンセント

<回答>

老朽化したコンセントについて、昨年9月から10月にかけて、小規模修繕により44箇所のコンセントの取り替え修繕を行いました。残りのコンセントについても引き続き状況を確認し、小規模修繕等で対応し環境整備に努めてまいります。（教育委員会総務課）

④教室増設（継続）

小学校の1クラスの定員が25～30人制になるのに伴って、教室を増やす対応をしなければなりません。もう増設できる土地が無いと思われまます。秋田市では、これをどのように考えておられるのでしょうか。次の⑤と一緒に考えられると思いますが、いかがでしょうか。

<回答>

普通教室を増やす対応については、教室を増築するスペースがないことから、学校運営に支障がないように学校と打ち合わせをしながら、特別教室の転用などで対応してまいります。（教育委員会総務課）

⑤校舎の改築とグラウンドの拡張について（継続）

日新小学校は新屋でも有数の高台にあり、津波襲来などを考えると立地場所としては素晴らしい環境にあります。

しかし校舎は建築後43年から45年経過し、かなり老朽化が進んでおります。また、生徒数の多さの割にはグラウンドは狭く、100mの直線トラックさえ取れない状態です。第2回国民体育大会陸上競技男子400m走の優勝者・高橋慶治氏の母校として残念な限りです。

運動会はなんとか開催しておりますが、応援の父兄席が極めて狭く、父兄たちからは不満の声が挙がっています。

用地買収など難しい問題があると思いますが、秋田の将来を背負う子どもたちのために、校舎改築と100mの直線トラックを含めたグラウンドの拡張を合わせてお願いいたします。

<回答>

秋田市内の小中学校のうち、昭和40年代に建設された学校は、日新小学校を含め11校にのぼります。これらすべての校舎の改築やグラウンドの改修、拡張をするには、多額の費用を要することから、一昨年度策定した「学校施設長寿命化計画」において、直近5年計画では部分改修を実施することとしておりますが、次期5年計画では、大規模改修や改築を含めた方向性を検討する必要があると考えております。（教育委員会総務課）

⑥学校に通じる道路の拡張について（継続）

日新小学校に通じる道路は3カ所がありますが、いずれも狭く、車の擦れ違いどころか、車が通れないと思われる箇所さえあります。と通学路の拡張を要望してきましたが、昨年度は不幸にも隣家に火災が発生し、やはり消防車が思い通り入れなかったため消火作業が遅れ、学校側に炎が伸びて、窓ガラスが13枚も割れました。

辛うじて延焼を免れましたが、近くに消火栓が無かったことも問題だと感じました。将来ある子どもたちの命を守るために、緊急車両が容易に通るためにも、小学校まで通じる道路の拡張と、消火栓の設置をお願いいたします。

<回答>

拡幅要望のあった日新小学校周辺の市道は、生活道路に位置づけられている道路になります。生活道路を拡幅するために必要な用地については、寄附を基本としていること、また、小学校周辺においては住宅が密集しており、道路を拡幅するためには多くの住宅の移転が必要となることなどから、早朝の整備は困難ですので、ご理解願います。また、消火栓の設置については、消火栓、防火水槽等の消防水利が、日新小学校周囲に適正に設置されておりますので、新たに設置する予定はありません。今後とも、火災発生時には、道路状況を考慮した消防車両の進入および防ぎょ活動に努めてまいります。

（道路建設課、消防本部警防課）